

Yoshitomi

— 創業支援ガイド book —

「やってみたい！」
が叶うまち





町の概要

東西に 1.8km、南北に 4.0km、面積 5.73 km²と、車であれば5分弱で通り過ぎてしまうほどのコンパクトさで、九州で一番小さな町です。気温は年間を通じて雨量も少なく、瀬戸内海型に区分される乾燥・多照の平均気温 16～17℃で、冬は暖かく、夏は涼しい暮らしやすい温暖な地域です。

町の特徴

小さいけれど田舎すぎず都会すぎない、歴史や伝統文化等の魅力がたくさん詰まっている町です。一級河川の山国川を県境に、からあげの聖地で有名な大分県中津市、海の幸が豊富な豊前海に面していて、美味しい食文化や美しい自然に恵まれていることも町の魅力の一つと言えます。また、吉富町ではオリンピックの

開催年と同じ4年に一度、神様が相撲をとる神事「神相撲」が行われます。鎌倉時代などに作られた古い傀儡（くぐつ／操り人形の原形と考えられるもの）を使い、相撲を奉納する神事は大変珍しく、この貴重な遺産を一目見ようと、町の北部に位置する八幡古表神社に全国から多くの人々が訪れます。

町の展望

子育て支援、移住定住支援の施策が充実している吉富町では、平成 29 年には人口増加に転じるなど、人口減に一定の歯止めがかかりました。今後も人口減少・少子高齢化の進行による影響への対応を重点化した政策と、こどもたちが夢を抱き、将来も住み続けたいと思えるまちづくりを進めていきます。

吉富町で創業する人を応援！

創業促進支援事業助成金制度

創業準備から経営相談まで、町と商工会が強力サポートします。

●対象 吉富町内で新規創業を目指す人（個人・法人 OK！）

●補助対象

開業のために係る店舗等改修工事費、備品購入費用（減価償却資産の耐用年数が3年未満のものを除く）、その他町長が必要と認める経費

●上限金額・助成額

金融機関等からの融資額（補助対象経費部分）の3分の1以内の額で、限度額 50 万円

●対象事業

- (1) 金融機関等からの融資を受け、事業計画の実効性が認められる事業
- (2) 新たな需要や雇用を創出し、創意工夫がみられた計画書に基づく事業
- (3) 吉富町の他の事業や助成制度等を併用していない事業
- (4) その他町長が特に支援の必要があると認めた事業

町内事業者の事業活動を全力で応援！

事業者チャレンジ応援補助金事業

経営の発展を目指した新規サービスの開始、新商品や新たな特産品開発等の新規事業に取り組む事業者を支援するための補助事業です。

●対象

確定申告の納税地（法人にあっては本店又は主たる事務所の所在地、個人にあっては住所等）が吉富町内である者又は吉富町内で営業許可等を得ており、事業の実態のある施設を有する者であって、次に掲げる要件を全て満たす事業者

- (1) 帳簿等で事業収入が確認できること
- (2) 町税の滞納がないこと
- (3) 補助金の交付を過去に受けていないこと

●対象経費

経営革新を目指し、創業時とは異なる新規サービスの開始、新商品や新たな特産品開発等の新規事業に取り組むための設備資金等

●上限金額 1 事業者あたり 50 万円（補助率 1/2）

詳しくは下記まで気軽に問い合わせを！

吉富町地域振興課 TEL0979-24-1177



吉富町の
ホームページは
こちらから

経営革新に挑戦したい事業所を応援！

中小企業経営革新支援制度

自社経営の刷新に積極的に取り組む事業所を支援し町産業の浮揚を図るための商工振興施策です。経営革新に挑戦したいという熱意ある事業所の取り組みを役場・商工会がバックアップします。

●対象

経営革新計画を策定し知事の承認を得た事業所

●対象経費

計画の遂行に要する費用（設備投資資金および運転資金）

●上限金額・助成額

計画の遂行に要する費用（設備投資資金および運転資金）の2分の1、上限 20 万円

実践の中で店舗経営のノウハウを習得し、独立開業を目指そう！

チャレンジショップ事業

吉富町の玄関口でもある JR 吉富駅前がもっとにぎやかになることを目的に設置された、3 軒のテナントショップ「チャレンジショップ」。低額の家賃で、新規出店を希望する意欲のある創業希望者に貸し出しています。吉富町外の人からの応募も可能。参加資格は吉富町 HP をチェック！

●対象

将来の開業を目指し、実店舗でチャレンジしたい方

●使用期間 最長 3 年間

●業種

- (1) 幅広い業種が可能。ただし、集客を目指す事業のため、あくまでも「店舗」であり「事務所」としての利用は不可
- (2) 火気を使用した飲食店としての利用も可能

●施設の概要

チャレンジショップ1号店・2号店：各 14 平方メートル（W6m×H2.5m×D2.4m 程度）

チャレンジショップ3号店：28 平方メートル（W12m×H2.5m×D2.4m 程度）

※基本設備は、床板・空調設備・電気（コンセント）および水道のつなぎ口

●入居条件

使用料＝月々税込 5,000 円（1 号店・2 号店）、月々税込 10,000 円（3 号店）

※補助内容等は予算の状況に応じて変更となる場合があります



「自分のお店を持ちたい」という夢を吉富町で叶えることができました。

チャレンジショップ事業

crumu 店主・山口 舞さん

子どもの頃からお菓子作りが好きで、いつか自分のお店を持ちたいと思っていた山口さん。漠然とした気持ちを後押ししたのがチャレンジショップの存在でした。「最初は不安でしたが、毎月楽しみに来てくださる方などお客様に支えられています。お店を止めてほしくないというお客様が1人でもいる限り、続けたい」と、チャレンジショップ卒業後に吉富町内で自身のお店を2026年にオープン。山口さんの挑戦は続きます。



公式 Instagram

crumu (クルム)

おかず系からデザート系、季節限定品まで取りそろえるクレープ専門店。「最後の一口までおいしく!」をモットーに、食べ終わりまで満足してもらえるよう仕上げられています。



チャレンジショップ事業

Flower.ikue 店主・萩原郁枝さん

コロナ禍と出産が重なり退職、子育てが落ち着いたタイミングで「華道の先生だった祖母と一緒にやってきたお花を皆さんにも共有できたら…」との思いからお店をやることを考え始めたそう。「チャレンジショップの家賃が自分で払える金額なので、売上に振り回されることがなく、お客様の反応を見ながら商品を入れ替えることができています」と萩原さん。ここでの経験を活かし、卒業後は吉富町内で自宅ショップを開業予定です。

自宅でいきなり開業するよりも、まずはお試ししかくと応募しました!

Flower.ikue (フラワーイクエ)

ソープフラワーやモールフラワーなど生花以外の花を組み合わせたフラワーアレンジを中心に、店主が手作りする世界で一つだけの作品などが並びます。大切な人へのプレゼント、自分へのご褒美にもピッタリ!



公式 Instagram



創業促進支援事業助成金制度

チャレンジショップ事業

cyeri room 店主・和間ひよさん

お菓子作りが好きな主婦とデザイナーなどの仕事をやってきた双子の姉妹が「生まれ育った吉富町でお店を2人でやりたい」という夢を叶えるため、チャレンジショップを経て、空き家だった古民家を自分たちで改装。2023年11月、子ども連れにも優しい設備を整えたカフェへと生まれ変わりました。小さい町なので住みやすく、分らないことがあったら何でも教えてもらえるので、吉富町で起業して良かったと話してくれました。

いま1人産休中なのですが、地域の人たちに支えてもらっているなと感じる毎日です。



cyeri room (チェリルーム)

看板メニューのアップルパイは、元々アップルパイが苦手だった2人が「自分たちが食べたいと思えるようなものを作りたい」と試行錯誤して完成させた一品。子どもでも食べやすいと好評です。



公式 Instagram

創業スクールなどの支援プログラムや専門家のアドバイスがあったことも良かったです。

チャレンジショップ事業

patisserie paindepices 店主・友松実咲季さん

小さい頃からケーキ屋さんになりたいくてホテルなどで経験を積んできた友松さん。結婚出産後ケーキ作りから離れていましたが、夢を諦めきれず、勢いでチャレンジショップに応募。「一からお店をやるほどの初期費用はかからないからダメだったら辞めればいい!」と思えたことも大きかったそう。2023年10月、空き家だった古い酒屋さんを改装し独立。補助金を活用し、設備や備品などでお客の出費をカバーしたそうです。



patisserie paindepices (パンデビス)

地元食材を使って手作りするケーキや焼き菓子の中で一番人気は季節のフルーツを使ったタルト。高級バターをたっぷり使用したバタークリームケーキはふるさと納税の返礼品にも選ばれています。



公式 Instagram



猫山商事店主・松山生美さん

保護猫活動なども行い、現在は6匹の猫たちと暮らす松山さん。アクセサリー制作など宝飾関連の仕事をしてきた経験を生かしつつ、趣味だった洋裁をメインにしたお店をやってみたくて 2020 年夏、チャレンジショップに入店。卒業後はチャレンジショップそばの空き家をアトリエへと改築し、「愛する猫を幸せにしたい」という思いを込めながら制作活動を続けています。

吉富町ののんびりとした雰囲気が制作活動にもちょうどいいです。



猫山商事

松山さんオリジナルデザインの刺繍入りがま口バッグは「動物愛護」がテーマ。売上の一部は保護猫のための寄付などに充てられるとのこと。ふるさと納税の返礼品にも選ばれています。ハンドメイドの洋服などもあり。



公式 Instagram

DOZO CAFE 店主・松浦慎治さん

62 歳で退職したものの一生現役で働きたかった松浦さん。友人からチャレンジショップの募集を教えられて、63 歳での起業を決意。たい焼き・たこ焼き作りも当然未経験でしたが、他店で学び、自信を持って開業できたそう。2020 年 3 月、町内の空き店舗を利活用し独立。「退職後に家に引きこもるのはもったいない。このお店を自当てに 1 人でも 2 人でも吉富町に来てくれる人が増えたら満足」と話します。

歳を取っても夢を諦めなくていい。居心地いい吉富町でぜひ挑戦を！

チャレンジショップ事業



DOZO CAFE (ドゥゾカフェ)

たい焼きやたこ焼き、ドリンク類を提供するテイクアウト専門店。「揚げたい焼き」や「タイヤキーニ」(パニーニ風たい焼き)、新メニュー「ヨリヨリドーナツ」にも注目です。



公式 Instagram

アンドカフェ店主・野上 彩さん

19 歳からパティシエとして働いてきましたが結婚を機に退職。自分でお店をやろうと思っていた時にたまたまチャレンジショップの募集を見て応募。チャレンジショップ事業の第 1 号店として地域の人たちの応援を受け、瞬間に人気店へ。卒業後は吉富駅近くの古い倉庫を改装し、自身の店をオープン。2025 年秋には待望のイトインスペースも誕生。野上さんに憧れ、吉富町で創業する人もいほどです。

困った時は吉富町の担当者がフォローしてくれるので起業する人も安心ですよ。



アンドカフェ

日々のおやつとして楽しんでもらえるようなケーキや焼き菓子、パティシエ目線で作ったドリンクを用意。ケーキが日替わりなのは「旬のものを味わってほしい」「ワクワク感を楽しんでもらいたい」から。



公式 Instagram



創業促進支援事業助成金制度

かくれが酒場 103 店主・大冨雄祐さん

町役場近くの空き家を改装した居酒屋の店主・大冨さんは町内の出身。居酒屋は子どもお断りが多く、入れても今度は子どもが食べるようなものがなかったという自身の経験から、「子ども連れでも入りやすく、食事から食後のデザートまで 1 軒で完結するようなお店があったら喜んでもらえるのでは」と開業を決意。初めての起業で初期費用も分からず不安はありましたが、補助金を活用し、運転資金に余裕を持ってスタートできたそう。

補助金があることを知らなかったのですが、役場の人が教えてくれたので助かりました。



かくれが酒場 103 (いちまるさん)

「これが食べたい」と選んでもらえるよう、鮮度抜群の地元魚介を使った料理から、小皿料理、お酒のアテ、しっかり満足できる一品まで、豊富なメニューが揃います。ケーキも自家製！



公式 Instagram



吉富町は家賃も安く、空家も多い。場所を確保しやすいし、固定費も安く済むので起業しやすいですよ。

創業促進支援事業助成金制度

SHOP VERO AJITO代表・橋本展洋さん

インテリアショップ「SHOP VERO」が自分たちの手で空き家を改装し、「秘密の隠れ家」として生まれ変わらせた路地裏の古民家レストラン。天井が高く、木のぬくもりが感じられる店内にヴィンテージ家具が並びます。吉富町は人との距離感が近く、「あそこに良さそうな空き家があったよ」など情報をくれたり、お弁当を注文してくれたり町ぐるみで協力してくれているのが伝わってきて心強いと話してくれました。



SHOP VERO AJITO

多彩な洋食メニューはできるだけ地元食材にこだわって手作りしています。お店自慢のハンバーグを味わうなら平日限定提供の「ハンバーグランチ」がお勧め。併設された家具&雑貨のショールームも必見です。



公式 Instagram

創業促進支援事業助成金制度

Hair salon L' AUTOMNE 店主・秋山和洋さん

売上よりもお客様の満足度を優先させるために自分でお店をやりたいと勤めていた美容室からの独立を考えていた秋山さん。県道 226 号線沿いで売り出し中の土地を見かけ、「この場所いいな」と感じたことが吉富町で創業するきっかけに。何からやればいいか手探り状態だったのでまずは商工会に相談。セミナーや相談会に参加し、経営などについて勉強する中で助成金を知り申請。自己負担を軽減でき、無理なく営業できています。

自分のやりたいようにやった方が楽しいので創業して良かったです。



Hair salon L' AUTOMNE (ロトヌ)

長くおしゃれを楽しんでほしいとお客様 1 人 1 人に向き合いながら髪と頭皮を美しくしてくれます。グリーンが彩る開放感ある吹き抜けのカットスペースは居心地良く、2 階にはキッズルーム付き個室も完備。



公式 Instagram

事業者チャレンジ応援補助金事業

杉元整骨院院長・杉元幸道さん

整骨院開業前にトレーナーとしてスポーツ指導にあっていた経験を持つ院長が隣接店舗に空きが出たのを機に補助金を活用し「よしとみフィットネスジム」を開業。整骨院でスポーツ中のケガも診ていたので元々スポーツをやっているお客さんが多く、「ジムでの指導とケガを診ること、どちらもできる施設が目の届く場所にあれば」と考えていたそう。商工会に教えてもらった補助金がマシンを揃える際などに役立ったと言います。



杉元整骨院

酸素カプセルやトレーニングマシン 11 台、有酸素マシンなどを備える整骨院&フィットネスジム。店内でつながっているので行き来しやすく、ケガへの施術はもちろん、リハビリや筋力強化のための指導も行っています。



公式 Instagram

多彩な支援制度で町がバックアップしてくれるのでリスクを軽減しながら新たな挑戦が可能です。

中小企業経営革新支援制度

若山食品・従業員の皆さん

創業以来 100 年以上にわたり受け継がれてきた手仕込み製法で高菜漬を製造。町の支援制度を活用し、2014 年には漬物業界で初めて国際水準である総合衛生管理 HACCP の認証を取得。「HACCP の認証を取得したことで商談がスムーズに進むようになった」と代表取締役の若山広利さん。伝統を守りながら徹底した清潔な環境下で製造される高菜漬は合成着色料・保存料不使用。国内はもちろん、海外にも広く出荷されています。



若山食品

近隣の契約農家で栽培された採れたての高菜を地下掘りタンクに 1 枚 1 枚並べ、丁寧に漬け込む高菜漬は約 30 アイテムが揃います。素材には妥協せず、醤油メーカーと共同開発した調味料、デボラ湖で収穫された天日塩などを使用。



公式ホームページ





発行 吉富町役場

〒871-8585 福岡県築上郡吉富町大字広津 226 番地 1

TEL 0979-24-1122 (代表)

<https://www.town.yoshitomi.lg.jp>

初版 令和 8 年 3 月発行



◀「よしとみさんぽ」では、
頑張っている店舗や企業を紹介！